

神田外語大学 外国語学部

2023年度

入学者選抜要項

総合型選抜〈前期〉

学科・専攻	英米語学科	
	アジア言語学科	インドネシア語専攻 ベトナム語専攻 タイ語専攻
	イberoアメリカ言語学科	スペイン語専攻 ブラジル・ポルトガル語専攻
出願期間	2022年9月8日(木)～9月14日(水)(消印有効)	
選考日	2022年10月8日(土) および 10月9日(日)	
合否結果通知発送日	2022年11月1日(火)	
入学手続期間	2022年11月2日(水)～11月8日(火)(消印有効)	

【重要】新型コロナウイルス感染症による影響について

本要項公開時点では、記載通りの実施を予定しております。
ただし、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況や政府の方針によって、出願条件、選考日程、選考方法を変更または中止せざるを得ない場合があります。
変更が生じた場合は、直ちに本学のホームページ等にてご案内いたしますので、出願にあたっては、必ず最新情報を確認してください。

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/>

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、出願書類等の作成・提出に支障がある場合には、アドミッション&コミュニケーション部までお問い合わせください。

Kanda
University of
International
Studies

CONTENTS

	頁
建学の理念、アドミッション・ポリシー	2
[重要なお知らせ]総合型選抜〈前期〉の一部オンライン形式での実施について	5
目的	6
1. 募集学部・学科・専攻・人員	6
2. 選考日程	6
3. 出願基準・条件	7
4. 出願書類	8
5. 選考日および受験場所・実施形式	9
6. 選考方法	
〔選考方法、プレゼンテーションテーマ、プレゼンテーション資料の形態、評価のポイント、 プレゼンテーション資料の提出方法〕	
英米語学科	10
アジア言語学科	12
イペロアメリカ言語学科	14
7. 参考文献リストの書き方	16
8. 入学検定料	17
9. 出願方法	17
10. 出願上の注意	17
11. 受験票の発送	17
12. 受験上の注意	18
13. 合否結果通知の発送	18
14. 入学手続	19
15. 入学前教育	19
16. 英語資格証明書の原本返却について	19
17. 入学試験Q&A	20

【個人情報の取扱いについて】

「個人情報」とは、学校法人佐野学園神田外語大学(以下、「本学」といいます)へ受験の申し込みをした受験者及び保護者(以下「申込者」といいます)の情報であり、申込者を特定できる情報をいいます。また、個人情報の一部であっても、他の情報と容易に結びつけることが可能であり、これにより申込者を特定できる情報についても個人情報とします。

本学では、取得した申込者の個人情報を、入学試験、合否発表、入学手続・準備、入学後の管理運営、志願者分析、およびこれらに付随する業務運営等の目的で利用します。また本学の教育・サービス向上のための分析等の目的で利用します。

本学は、運用にあたり、個人情報に関連する法令等を厳守し、適法かつ公正に、取得、利用、提供、保管および廃棄を行います。また、上記利用目的の限りにおいて、必要な範囲内で本学グループ機関等に申込者の個人情報を提供する場合があります。また、業務の全部または一部の取扱いを外部業者等に委託する場合があります。その場合、漏えい等を防止するために契約により義務付ける等の方法により、適切な管理を実施します。

本学は、保有個人情報につき、申込者からの利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加または削除、および利用や第三者提供の停止または消去の求めに対応します。手続の詳細については、本学の「個人情報保護への取り組みについて」をご覧ください。

本学の個人情報保護への取り組みについて：
<https://www.kandagaigo.ac.jp/privacy/>

本学の個人情報利用に関する問合せ先：
〒101-8525 東京都千代田区内神田2-13-13
学校法人佐野学園「個人情報の保護に関する学内委員会」
www@kandagaigo.ac.jp

言葉は世界をつなぐ平和の礎

Languages are the foundation to link the world in peace.

アドミッション・ポリシー(入学受入方針)

外国語学部

神田外語大学の理念は、「言葉は世界をつなぐ平和の礎」である。これを受け、外国語学部の教育は、「専攻地域言語と英語の高度な運用能力を身につけ、言語としての専攻地域言語と同言語圏の様々な事柄に対する知識等を教授する。それにより、国際社会に貢献しうる豊かな教養と真のコミュニケーション能力を身につけた自立した人材を養成」することを目的としている。本学部では、次に掲げる能力や姿勢を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」「思考力」「コミュニケーション能力」

【知識・技能】

- 高等学校卒業レベルの基礎学力 ● 本学部での学修に必要な一定程度の英語能力
- 本学部での学修に必要な日本語の読解力と論理的表現力 ● 世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】

国際社会の諸問題に関心をもち、自らの問題として考え学修し、それを表現する力

【コミュニケーション能力】

対話を通じ、異なる価値観や背景をもつ人と相互に理解し合う力

2. 入学後の学びに対する姿勢

- (1) 参加型かつ実践的な授業を通して主体的に学び、高度な外国語運用能力を修得する強い意志をもつ人
- (2) 多様な価値観や背景をもつ人と、自ら積極的にコミュニケーションを図り、協力し合って、様々な課題の解決に取り組める人
- (3) 国際社会の一員として活躍する意欲をもち、諸外国の文化や社会を深く理解しようとする人

3. 評価の方法

本学部では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査等によって受験者の能力や姿勢を評価する。

英米語学科

本学科では、次に掲げる能力や姿勢を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

【知識・技能】

- 高等学校卒業レベルの基礎学力
- 本学科での学修に必要な一定程度の英語能力
- 本学科での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
- 世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】

- 英語圏の言語・歴史・文化・社会に関心をもち、問題意識をもって主体的に情報を集め、情報を分析、評価する力
- 資料や文献を批判的に読み解き、筋道を立てて粘り強く考える力

【コミュニケーション能力】

授業内外の活動において、他者との意見交換に積極的に参加し、協力し合って、問題解決を図ろうとする姿勢

2. 入学後の学びに対する姿勢

- (1) 内外の様々な分野に貢献できる高度な英語運用能力の修得に強い意欲をもち、自主的に学習できる人
- (2) 日英語を駆使して情報を収集し関心のある分野の理解を深めることのできる人。また、様々な問題を多角的に考察し、自分の意見を論理的に表現することのできる人
- (3) 英語圏の言語・歴史・文化・社会に関する深い教養に基づき、内外の様々な場面において、国際社会の一員として多様性と調和を尊重する社会の実現に主体的に関わろうとする人

3. 評価の方法

本学科では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。

アジア言語学科

本学科では、次に掲げる能力や姿勢を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

【知識・技能】

- 高等学校卒業レベルの基礎学力
- 本学科での学修に必要な一定程度の英語能力
- 本学科での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
- 世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】

- 専攻言語圏の諸問題に関心をもち、それらについて自ら考え学修し、表現する力
- 日本語の社説や論評などの内容を理解し、それに対する自らの考えを論理的に表現する力

【コミュニケーション能力】

授業内外の活動において、他者との意見交換に積極的に参加し、協力し合って問題解決を図ろうとする姿勢。

2. 入学後の学びに対する姿勢

- (1) 国内外の様々な分野に貢献できる高度な専攻言語の運用能力の修得に強い意欲をもち、主体的、自立的に学修できる人
- (2) 実践的な英語運用能力の修得に強い意欲をもち、主体的、自立的に学修できる人
- (3) 専攻言語および同言語圏の歴史・文化・政治・経済・社会に関する幅広い教養に基づき、人々の多様性を尊重し、多文化共生の観点から国際社会の発展に主体的に関わろうとする人
- (4) 興味関心のある分野において、専攻言語や英語、日本語を駆使して複眼的な理解、情報収集、客観的分析、論理的表現を行い問題解決に貢献しようとする人

3. 評価の方法

本学科では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。

本学科では、次に掲げる能力や姿勢を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

【知識・技能】

- 高等学校卒業レベルの基礎学力
- 本学科での学修に必要な一定程度の英語能力
- 本学科での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
- 世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】

- 専攻言語圏の諸問題に関心をもち、それらについて自ら考え学修し、表現する力
- 日本語の社説や論評などの内容を理解し、それに対する自らの考えを論理的に表現する力

【コミュニケーション能力】

授業内外の活動において、他者との意見交換に積極的に参加し、協力し合って問題解決を図ろうとする姿勢。

2. 入学後の学びに対する姿勢

- (1) 国内外の様々な分野に貢献できる高度な専攻言語の運用能力の修得に強い意欲をもち、主体的、自立的に学修できる人
- (2) 実践的な英語運用能力の修得に強い意欲をもち、主体的、自立的に学修できる人
- (3) 専攻言語および同言語圏の歴史・文化・政治・経済・社会に関する幅広い教養に基づき、人々の多様性を尊重し、多文化共生の観点から国際社会の発展に主体的に関わろうとする人
- (4) 興味関心のある分野において、専攻言語や英語、日本語を駆使して複眼的な理解、情報収集、客観的分析、論理的表現を行い問題解決に貢献しようとする人

3. 評価の方法

本学科では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。

[重要なお知らせ]

総合型選抜〈前期〉の一部オンライン形式での実施について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、外国語学部では2023年度総合型選抜〈前期〉の選考を一部オンライン形式で実施します。

英語テスト：対面形式(受験場所:神田外語大学)

プレゼンテーション、質疑応答・面接：オンライン形式(受験場所:神田外語大学)

対面形式、オンライン形式いずれの選考も受験場所は「神田外語大学」です。プレゼンテーション、質疑応答・面接は、試験官とは別室で試験を行います。オンライン形式での実施により必要となる情報については、本学ホームページに掲載の「オンライン試験実施に関するガイドライン」を確認してください。

[出願者には、9月27日(火)以降に以下を通知]

- ・ 受験番号
- ・ 選考日程の詳細(プレゼンテーション実施日時等)
- ・ その他受験するにあたって必要となる情報

*出願にあたっては、最新の情報を必ず確認してください。

*志願書にE-mailアドレス記入欄があります。受験に必要な情報等をメールでお知らせする可能性がありますので、文字(大文字・小文字)・数字・記号が判別しやすいように明確に記入し、誤りのないように注意してください。

また、迷惑メール対策をしている場合は、本学(@kanda.kuis.ac.jp)からのメールを受信できるように予め設定をしてください。

入学者選抜要項 総合型選抜〈前期〉

目的

この入学者選抜は、基本的な知識・技能・コミュニケーション能力だけではなく、これからの時代に求められる「思考力・判断力・表現力」「課題に向き合う主体性」をプレゼンテーションと面接を通して多面的に評価します。また、この入学者選抜からの入学者には、入学前教育が課されます。入学までの時間を大切に、進んで課題に取り組む人物を求めています。

1. 募集学部・学科・専攻・人員

学 部	学 科	専 攻	入学年次	募集人員
外国語学部	英米語学科	—	1年次	10名
	アジア言語学科	インドネシア語専攻		3名
		ベトナム語専攻		3名
		タイ語専攻		3名
	イペロアメリカ言語学科	スペイン語専攻		5名
		ブラジル・ポルトガル語専攻		4名

※出願状況および選考結果等により、合格者数が募集人員を下回る場合があります。

2. 選考日程

出願期間	2022年9月8日(木)～9月14日(水)(消印有効)
プレゼンテーション資料提出期間 (スライド資料やフリップの画像など)	2022年9月22日(木)～9月29日(木)(必着)
選考日	2022年10月8日(土) および 10月9日(日)
合否結果通知発送日	2022年11月1日(火)
入学手続期間	2022年11月2日(水)～11月8日(火)(消印有効)

3. 出願基準・条件

次の(1)～(5)すべての条件を満たすこと。

(1) 下記①～③の大学入学資格のいずれかに該当する者。

- ① 高等学校(中等教育学校を含む、以下同じ)を卒業した者、および2023年3月卒業見込みの者。
- ② 特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次を修了した者、および2023年3月修了見込みの者。
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2023年3月31日までに以下のA～Fのいずれかに該当する見込みの者。
 - A 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、および2023年3月31日までに修了見込みの者、あるいはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。
 - B 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、および2023年3月31日までに修了見込みの者。
 - C 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2023年3月31日までに修了見込みの者。
 - D 文部科学大臣の指定した者。
 - E 高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定試験を含む)に合格した者、および2023年3月31日までに合格見込みの者。
 - F 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年3月31日までに18歳に達する者。

(2) 本学を第一志望とし、志望する学科および専攻の学習に強い意欲と明確な目標をもっている者。

(3) 入学後は他の学生の良き手本となる自覚と意欲のある者。

(4) **総合型選抜〈前期〉で合格した場合には、必ず入学すること(総合型選抜〈前期〉での学内併願不可)。**

(5) **合格した場合には、本学が課す「入学前教育」に取り組み、必ず期間内に完了すること。**
「入学前教育」を完了しない場合、入学が取り消される場合があります。

※上記(1)のいずれかに該当する者のうち、大学入学時の年齢が18歳未満となる場合は、出願前に本学アドミッション&コミュニケーション部へお問い合わせください。

4. 出願書類 *学科により一部異なります。

次の書類のうち、①～⑦のすべてを提出してください。⑧は任意提出書類です。⑨は出願後、所定の期日までに提出してください。また、出願書類の記入は黒のボールペンで、本人自筆で記入してください。
*フリクションボール等、消せるボールペンは使用しないでください。

① 総合型選抜〈前期〉 入学志願書（本学所定書式）

本学ホームページよりダウンロードし、A4サイズの紙に印刷して、それぞれの項目について黒のボールペンで、本人自筆で記入してください。

※高校コード欄は、大学入試センターホームページに掲載されている「高等学校等コード表」を参照して記入してください。
(大学入試センターURL <https://www.dnc.ac.jp/>)

② 総合型選抜〈前期〉 写真票（本学所定書式）

本学ホームページよりダウンロードし、A4サイズの紙に印刷して、それぞれの項目について黒のボールペンで、本人自筆で記入してください。

③ 写真2枚（①と②に1枚ずつ貼付）

同一のものを入学志願書と写真票に貼付してください。

- ・縦4cm×横3cm、枠なし
- ・カラー写真(スピード写真可)
- ・上半身、無帽、正面、背景なし
- ・出願日より3ヵ月以内に撮影したもの
- ・写真裏面に志望学科・専攻・氏名を記入

※写真裏面にシールタイプの場合は、シールをはがし、縦4cm×横3cmの白紙に貼付して志望学科・専攻・氏名を記入したうえで貼付してください。

※試験時間中に眼鏡をかける可能性のある者は、必ず眼鏡をかけて撮影してください。

④ 志望理由書（本学所定書式） *学科により字数指定が異なります。

本学ホームページよりダウンロードし、A4サイズの紙に印刷して、黒のボールペンで、本人自筆で記入してください。

英米語学科	日本語：1,200字以内（用紙3枚）
アジア言語学科 イベロアメリカ言語学科	日本語：800字以内（用紙2枚）

⑤ プレゼンテーション概要（本学所定書式） *学科により指定が異なります。

英米語学科	本学ホームページより所定書式(Word)をダウンロードし、以下の事項を入力して印刷してください。 ・ 1テーマ1ページ ・ 記入事項：「氏名」「氏名(英字表記)」 *文字サイズ 16pt 「プレゼンテーションタイトル」 *文字サイズ 16pt 「概要」 *英文で150～200words（文末に概要の語数を記載） *文字サイズ 12pt 「参考文献」 *文字サイズ 12pt ※両方のテーマについて作成して提出してください。片方を選択することはできません。 ※参考文献リストの書き方は、記入例(16ページ記載)を参照してください。
アジア言語学科 イベロアメリカ言語学科	本学ホームページよりダウンロードし、A4サイズの紙に印刷して、黒のボールペンで、本人自筆で記入してください。 ・ 表紙 ・ プレゼンテーション概要：日本語で1,200字以内 ・ 参考文献リスト ※プレゼンテーションのテーマ(12・14ページ記載)を1つ選択し、概要を作成してください。 ※参考文献リストの書き方は、記入例(16ページ記載)を参照してください。 ※プレゼンテーションの構想を記入するものです。選考日までに構成や結論に変更が生じてもかまいませんが、出願時に選択したテーマを変更することはできません。

⑥ 調査書等

卒業見込者および修了見込者は出願日より3ヵ月以内に発行されたもの、既卒者は卒業後に発行されたものを提出してください。

※卒業見込者は出願時点で最新の成績が記載された調査書を提出してください。

※高等学校等が発行する調査書等の氏名表記が、以下の理由等で、志願者本人が出願書類に記入する氏名表記と異なる場合は、同一人物であることを証明する書類を必ず添付してください。ただし、旧字体と略字体である常用漢字との相違についてはかまいません。(例)澤⇒沢
外国籍の方で通称名を使用する場合や氏名を省略した場合等はいずれかを提出してください。

- ・住民票の写し(コピー可) *住民票に通称名が記載されていることを確認してください。
- ・調査書を発行する高等学校等が、同一人物であることを証明する書類(書式不問)

A	・高等学校・中等教育学校の卒業(見込)者 ・特別支援学校高等部の修了(見込)者 ・高等専門学校第3学年の修了(見込)者 ・文部科学大臣が認定または指定した在外教育施設の修了(見込)者	➡	・出身学校の調査書 (開封無効)
	※海外留学により単位認定を受けた場合は、認定単位数を調査書に明記し、留学先の学校が発行する「成績や在籍に関する証明書」を必ず調査書に添付してください。証明書がコピーの場合には、高等学校長印で原本と相違ないことの証明を受けてください。 ※高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定を含む)により単位認定を受けた場合は、当該科目の「科目合格証明書」を併せて提出してください。 ※卒業後5年以上経過し、調査書が発行できない場合は、「卒業証明書」と「単位修得証明書」を提出してください。		
B	・外国の学校等の修了(見込)者 ・専修学校高等課程の修了(見込)者	➡	・修了(見込)証明書 ・成績証明書
	「修了(見込)証明書」と「成績証明書」を両方提出してください。なお、日本の高等学校に在籍した場合は、その高等学校の「調査書」も提出してください。 提出書類が和文・英文以外の場合は、和訳または英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことを出身学校や大使館・総領事館で証明を受けて添付してください。		
C	・高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者 (大学入学資格検定を含む)	➡	・合格(見込)成績証明書 (開封無効)
	高等学校で単位を修得した場合は、「単位・成績修得の証明書」(履修した高等学校等で発行する証明書で、科目ごとの修得単位数と成績が記載されたもの)を併せて提出してください。		

⑦ 入学検定料振込金受領書のコピー

⑧ 語学検定試験等の合格証明書(任意)

語学検定試験等の級やスコアを取得している場合は、合格証明書等を同封してください。

内容に応じて、英米語学科およびアジア言語学科では加点对象、イベロアメリカ言語学科では書類審査の参考とします。

※取得スコアが提示される資格・検定試験については、取得スコアが記載された証明書を提出してください。

実用英語技能検定の場合、Certification Cardは英検CSEスコアが記載されていないため不可とします。

※証明書は、原本に相違ないことの記載、およびその旨を証明する出身高等学校長印等が押印されている場合に限り、コピーの提出を認めません。

※原本を提出し、その返却を希望される方は、19ページに記載の方法で出願時に申請してください。

※アジア言語学科の場合、語学検定試験は、英語に限定しません。

*上記①～⑧とは提出期間の異なる資料

⑨ プレゼンテーション資料

2022年9月29日(木)までに11・13・15ページ記載の提出方法に従って提出してください。

※指定の提出期間以外は受理できません。

5. 選考日および受験場所・実施形式

	英語テスト	プレゼンテーション、質疑応答・面接
選考日	2022年10月8日(土)	2022年10月8日(土)または10月9日(日)
受験場所	神田外語大学	神田外語大学
実施形式	対面形式(マークシート方式)	オンライン形式

※プレゼンテーション、質疑応答・面接は、試験官とは別室で試験を行います。

※プレゼンテーション、質疑応答・面接の選考日は、受験票で通知します。

※オンライン実施に関する詳細は、本学ホームページに掲載の「オンライン試験実施に関するガイドライン」を確認してください。

*不測の事態により上記の日程で選考を行えない場合の予備日:10月15日(土)、10月16日(日)
予備日の実施となる場合は、本学ホームページ等を通じてお知らせします。

6. 選考方法 *学科により異なります。

英米語学科																
選考方法	1. 書類審査 2. 英語テスト(約45分) *英文法15分+英語リスニング約30分 3. 英語プレゼンテーション(約15分) (1) 英語プレゼンテーション(4分以内) (2) 英語による質疑応答(約8分) 4. 日本語面接(約5分) ※試験官(面接官)からテーマの指示を受けてセッティングを行い、プレゼンテーションを開始してください。 ※プレゼンテーションは定められた時間内に終わってください。 ※英語プレゼンテーション(4分以内)に準備時間は含めません。 ※英語プレゼンテーションおよび日本語による面接は、公正な審査を目的として録画・録音を行うことがあります。 記録した動画・音声は、可否判定後に消去します。 ※オンライン形式で実施します。詳しい実施手順については、本学ホームページに掲載の「オンライン試験実施に関するガイドライン」を確認してください。															
プレゼンテーション テーマ	以下の2つのテーマについて、英語によるプレゼンテーションを用意してください。 試験当日はどちらか1つのテーマのプレゼンテーションを行います。どちらを行うかは、当日に試験室で指示します。従って、テーマを自分で選択することはできません。どちらのテーマにおいても自分の視点を明確にしたプレゼンテーションを準備してください。プレゼンテーションの内容、構成、話しぶり、また英語力やプレゼンテーションの理解のしやすさ、説得力などを評価します。 ① Social Media: Its Impact on Society ② Diversity in Japan: Issues and Concerns															
プレゼンテーション 資料の形態	パワーポイント等の プレゼンテーション ソフトで作成した資料	- ppt, pptx, pdfのいずれかのファイル形式で作成してください。 ※pptファイルとpptxファイルを開く際は、WindowsパソコンのPowerPoint2016を使用します。 - スライドの枚数に指定はありません。 - ファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 ※プレゼンテーション実施前にUSBメモリのウイルスチェックを行います。 ※持参するUSBメモリには、プレゼンテーションに使用するファイル以外のデータを保存しないでください。 ※上記以外の形態の資料は認められません。 ※対面(画面越しを含む)でのプレゼンテーションを評価したいため、動画や録音された音声資料の使用は禁止します。 ※プレゼンテーションには本学のPCを使用します。														
評価のポイント	<table> <tr> <td rowspan="3">プレゼンテーション</td><td>内容 Content</td><td>興味をひく内容で、主張はデータや事前学習に基づいており、具体的・独創的であるか。</td></tr> <tr> <td>構成 Organization</td><td>全体が[序論]－[本論]－[結論]で構成され、主張が導入から結論に至るまで、論理的に一貫しているか。テーマおよび論旨が明確であり、理路整然としているか。</td></tr> <tr> <td>話しぶり Delivery</td><td>態度、姿勢、発声が適切であり、抑揚、テンポなど聴き手を引き込む力があるか。聴き手の目を見て話し、身振り、手振りを交えて伝えたい内容をわかりやすく伝えているか。</td></tr> <tr> <td rowspan="3">質疑応答</td><td>英語力 English ability</td><td>発音が明瞭で聞きやすいか。文法がしっかりしており、語彙が豊富で、表現力があるか。</td></tr> <tr> <td>流暢さ、理解しやすさ Fluency, Intelligibility</td><td>流暢に発表内容を伝えることができるか。わかりやすい英語で、聴き手が理解しやすいように説明できているか。</td></tr> <tr> <td>説得力 Persuasiveness</td><td>質問に対し、持論を論理的に展開し、相手を説得する力があるか。</td></tr> </table>	プレゼンテーション	内容 Content	興味をひく内容で、主張はデータや事前学習に基づいており、具体的・独創的であるか。	構成 Organization	全体が[序論]－[本論]－[結論]で構成され、主張が導入から結論に至るまで、論理的に一貫しているか。テーマおよび論旨が明確であり、理路整然としているか。	話しぶり Delivery	態度、姿勢、発声が適切であり、抑揚、テンポなど聴き手を引き込む力があるか。聴き手の目を見て話し、身振り、手振りを交えて伝えたい内容をわかりやすく伝えているか。	質疑応答	英語力 English ability	発音が明瞭で聞きやすいか。文法がしっかりしており、語彙が豊富で、表現力があるか。	流暢さ、理解しやすさ Fluency, Intelligibility	流暢に発表内容を伝えることができるか。わかりやすい英語で、聴き手が理解しやすいように説明できているか。	説得力 Persuasiveness	質問に対し、持論を論理的に展開し、相手を説得する力があるか。	
プレゼンテーション	内容 Content		興味をひく内容で、主張はデータや事前学習に基づいており、具体的・独創的であるか。													
	構成 Organization		全体が[序論]－[本論]－[結論]で構成され、主張が導入から結論に至るまで、論理的に一貫しているか。テーマおよび論旨が明確であり、理路整然としているか。													
	話しぶり Delivery	態度、姿勢、発声が適切であり、抑揚、テンポなど聴き手を引き込む力があるか。聴き手の目を見て話し、身振り、手振りを交えて伝えたい内容をわかりやすく伝えているか。														
質疑応答	英語力 English ability	発音が明瞭で聞きやすいか。文法がしっかりしており、語彙が豊富で、表現力があるか。														
	流暢さ、理解しやすさ Fluency, Intelligibility	流暢に発表内容を伝えることができるか。わかりやすい英語で、聴き手が理解しやすいように説明できているか。														
	説得力 Persuasiveness	質問に対し、持論を論理的に展開し、相手を説得する力があるか。														

英米語学科

プレゼンテーション資料の提出方法 2つのテーマについて、以下の要領で期日までにプレゼンテーション資料を提出してください。
※両方のテーマについて作成して提出してください。片方を選択することはできません。

提出資料	パワーポイント等のプレゼンテーションソフトで作成したスライド資料 ・ PDF形式にして提出してください。 ※スライドや提出物に他者の作成した表、グラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。
提出期間	2022年9月22日(木)～9月29日(木)(必着) ※上記期間以外は受理できません。 ※指定期間内に提出されない場合、合否判定が行えなくなる可能性があります。
提出方法	本学ホームページ内に開設する専用フォームに必要事項を入力の上、資料を添付して送信してください。 本学ホームページ https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/ ※1度しか送信できません。通信状況の不具合等により送信できない場合は、本学アドミッション&コミュニケーション部へお問い合わせください。

アジア言語学科（インドネシア語専攻、ベトナム語専攻、タイ語専攻）

選考方法

1. 書類審査
2. 英語テスト(約45分) *英文法15分+英語リスニング約30分
3. 日本語プレゼンテーション(約25分)
 - (1) 日本語プレゼンテーション(10分以内)
 - (2) 質疑応答・面接(約15分)

※プレゼンテーションは定められた時間内に終わってください。

10分が経過した時点でプレゼンテーションが途中の場合は、そこで終了して質疑応答に移ります。

※日本語プレゼンテーション(10分以内)に準備時間は含めません。

※日本語プレゼンテーションは、公正な審査を目的として録画・録音を行うことがあります。

記録した動画・音声は、合否判定後に消去します。

※オンライン形式で実施します。詳しい実施手順については、本学ホームページに掲載の「オンライン試験実施に関するガイドライン」を確認してください。

プレゼンテーション テーマ

※3専攻共通

次の2つのテーマの中から1つを選び、それについて論じなさい。

- ① あなたの志望する専攻語が話される国や社会、地域が、日本や東南アジア諸国など他の国や社会、地域と協力し、人々が豊かな生活を送るようになるために、あなたが将来どのような役割を果たせるか、あるいは果たしたいか。そのためにあなたが大学で何を学ぶべきか、そして将来それをどのようにいかせるか。専攻語そのものや、当該地域の文化・芸術、歴史・社会、政治・経済・ビジネスなど、あなたが興味をもっている事柄に関連させて、論じてください。
- ② もしあなたが、志望する専攻語の地域(インドネシア、ベトナム、タイのいずれかの国)に関係したビジネスやボランティア活動をするとしたら、どのようなことをしますか。専攻語地域の特徴をいかしたユニークなビジネスやボランティア活動の可能性を考えてみてください。その際は、専攻語地域が現在抱える問題(課題)を明らかにしたうえで、その課題をどのようなビジネスやボランティア活動の取り組みを用いて解決するか、具体的な事例をあげながら説明してください。
例えば、日本で行われているビジネスやボランティア活動を専攻語地域に応用してもよいですし、専攻語地域のもつ資源や産業を、日本やその他の国・地域に役立てるためのアイデアでもかまいません。ビジネスの知識やボランティア活動の経験よりも、専攻語社会がもつ特徴をつかんでいることが大切です。

※出願後のテーマ変更は認めません。

プレゼンテーション 資料の形態

①パワーポイント等の プレゼンテーション ソフトで作成した資料

- ・ ppt, pptx, pdfのいずれかのファイル形式で作成してください。
※pptファイルとpptxファイルを開く際は、WindowsパソコンのPowerPoint2016を使用します。
- ・ スライドの枚数に指定はありません。
- ・ ファイルをUSBメモリに保存して持参してください。
※プレゼンテーション実施前にUSBメモリのウイルスチェックを行います。
※持参するUSBメモリには、プレゼンテーションに使用するファイル以外のデータを保存しないでください。

②その他

- [スケッチブックやフリップ等]
- ・ 枚数やサイズに指定はありません。
※オンライン形式での実施に伴い、画面に映すことを考慮して作成してください。

※対面(画面越しを含む)でのプレゼンテーションを評価したいため、動画や録音された音声資料の使用は禁止します。

アジア言語学科（インドネシア語専攻、ベトナム語専攻、タイ語専攻）

評価のポイント

内容	興味をひく内容で、主張がデータや事前学習に基づき具体的で独創的であるか。
構成	テーマおよび論旨が明確であり、理路整然としているか。 主張が導入から結論に至るまで、論理的に一貫しているか。
表現力	態度、姿勢、発声が適切であり、抑揚、テンポなど聴き手を引き込む力があるか。 聴き手の目を見て話し、身振り、手振りを交えて伝えたい内容をわかりやすく伝え ているか。
説得力	意欲や熱意があり、アピールする力があるか。
寛容性	自国の文化を理解したうえで、異文化を受け入れ、尊重しているか。
質疑応答	質問に対して明確な受け答えができていないか。

プレゼンテーション 資料の提出方法

以下の要領で期日までにプレゼンテーション資料を提出してください。

提出資料	①プレゼンテーションソフトで 作成した資料	PDF形式にして提出してください。
	②その他 [スケッチブックやフリップ等]	写真に撮ったデータ ※写真データが複数になる場合は、1つのファイルにまとめて提出して ください。 例) Wordに1ページ1枚の要領で写真データを貼り付け、PDF化し、 1つのファイルにまとめる。
提出期間	2022年9月22日(木)～9月29日(木)(必着) ※上記期間以外は受理できません。 ※指定期間内に提出されない場合、合否判定を行えなくなる可能性があります。	
提出方法	本学ホームページ内に開設する専用フォームに必要事項を入力の上、資料を添付して 送信してください。 本学ホームページ https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/ ※1度しか送信できません。通信状況の不具合等により送信できない場合は、本学アドミッション&コミュニ ケーション部へお問い合わせください。	

※スライドや提出物に他者の作成した表、グラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。

※プレゼンテーションには本学のPCを使用します。

イペロアメリカ言語学科（スペイン語専攻、ブラジル・ポルトガル語専攻）

選考方法

1. 書類審査
2. 英語テスト(約45分) *英文法15分+英語リスニング約30分
3. 日本語プレゼンテーション(約25分)
 - (1) 日本語プレゼンテーション(10分以内)
 - (2) 質疑応答・面接(約15分)

※プレゼンテーションは定められた時間内に終わってください。

10分が経過した時点でプレゼンテーションが途中の場合は、そこで終了して質疑応答に移ります。

※日本語プレゼンテーション(10分以内)に準備時間は含めません。

※日本語プレゼンテーションは、公正な審査を目的として録画・録音を行うことがあります。

記録した動画・音声は、合否判定後に消去します。

※オンライン形式で実施します。詳しい実施手順については、本学ホームページに掲載の「オンライン試験実施に関するガイドライン」を確認してください。

プレゼンテーション テーマ

※志望する専攻の
テーマを確認して
ください。

スペイン語専攻

本学のスペイン語専攻で何を学び、スペインやラテンアメリカ諸国と将来どのように関わっていきたいのか、スペイン語やスペイン語圏の文化・芸術、歴史・社会など、あなたが興味をもっている事柄と合わせて、プレゼンテーションをしなさい。

ブラジル・ポルトガル語専攻

ブラジルは、国土の大きさでは世界第5位、人口の多さでも世界第7位で、日本とも深い交流の歴史を持つ親日国です。ブラジルの特徴を知るために用意された以下の3つの題目のうち、1つを選んでプレゼンテーションをしなさい。

- ① あなたが将来、ブラジルに関係したビジネスをしたら、どのようなことをしますか。ブラジル社会の特徴をいかしたユニークなビジネスの可能性を考えてください。ブラジル国内向けでも、ブラジルから国際市場を目指したものでもかまいません。例えば、日本では当たり前となっているビジネスで、ブラジルにいかせるもの、ブラジルの持っている資源や産業で、日本やその他の国や地域にいかせるものなど、あなたが考えることを発表してください。ビジネスの知識よりも、ブラジル社会の特徴をつかんでいるかどうか大切です。
- ② ブラジルの国際関係史の中で、あなたが一番興味をもっているのはどのような点ですか。ブラジルとその他の国や地域との関係を調べ、国際社会の中におけるブラジルの特徴を述べてください。特定の歴史的トピックスでも、時代の流れに焦点を当ててもかまいません。対象とする時代は問わないものとします。
- ③ ブラジルは大統領制を敷いています。ブラジルの大統領候補になったつもりで、選挙公約を考えてください。政治志向そのものよりも、ブラジル社会の課題・特徴をつかんでいるか、あなた自身のリーダーシップを伝えられるかどうか大切です。

少し難解に感じるかもしれませんが、ブラジル・ポルトガル語専攻では、テーマについて調べることが、気づきや知識を得る機会になると考えています。様々な情報の中からどのような点に着眼するか、あなた自身がどう考えるかが大切です。あなた自身が調べたことをきっかけに、将来ブラジルとどのように関わっていきたいかをアピールしてください。

※出願後のテーマ変更は認めません。

イペロアメリカ言語学科（スペイン語専攻、ブラジル・ポルトガル語専攻）

プレゼンテーション 資料の形態

①パワーポイント等の プレゼンテーション ソフトで作成した資料	- ppt、pptx、pdfのいずれかのファイル形式で作成してください。 ※pptファイルとpptxファイルを開く際は、WindowsパソコンのPowerPoint2016を使用します。 - スライドの枚数に指定はありません。 - ファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 ※プレゼンテーション実施前にUSBメモリのウイルスチェックを行います。 ※持参するUSBメモリには、プレゼンテーションに使用するファイル以外のデータを保存しないでください。
②その他	[スケッチブックやフリップ等] 枚数やサイズに指定はありません。 ※オンライン形式での実施に伴い、画面に映すことを考慮して作成してください。

※対面(画面越しを含む)でのプレゼンテーションを評価したいため、動画や録音された音声資料の使用は禁止します。
※プレゼンテーションには本学のPCを使用します。

評価のポイント

内容	興味をひく内容で、主張がデータや事前学習に基づき具体的で独創的であるか。
構成	テーマおよび論旨が明確であり、理路整然としているか。 主張が導入から結論に至るまで、論理的に一貫しているか。
表現力	態度、姿勢、発声が適切であり、抑揚、テンポなど聴き手を引き込む力があるか。 聴き手の目を見て話し、身振り、手振りを交えて伝えたい内容をわかりやすく伝えているか。
説得力	意欲や熱意があり、アピールする力があるか。
寛容性	自国の文化を理解したうえで、異文化を受け入れ、尊重しているか。
質疑応答	質問に対して明確な受け答えができているか。

プレゼンテーション 資料の提出方法

以下の要領で期日までにプレゼンテーション資料を提出してください。

提出資料	①プレゼンテーションソフトで 作成した資料	PDF形式にして提出してください。
	②その他 [スケッチブックやフリップ等]	写真に撮ったデータ ※写真データが複数になる場合は、1つのファイルにまとめて提出してください。 例) Wordに1ページ1枚の要領で写真データを貼り付け、PDF化し、1つのファイルにまとめる。
提出期間	2022年9月22日(木)～9月29日(木)(必着) ※上記期間以外は受理できません。 ※指定期間内に提出されない場合、合否判定を行えなくなる可能性があります。	
提出方法	本学ホームページ内に開設する専用フォームに必要事項を入力の上、資料を添付して送信してください。 本学ホームページ https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/ ※1度しか送信できません。通信状況の不具合等により送信できない場合は、本学アドミッション&コミュニケーション部へお問い合わせください。	

※スライドや提出物に他者の作成した表、グラフ等を利用する場合は、出典を明示してください。

7. 参考文献リストの書き方（『神田外語大学 基礎演習ガイドブック』より抜粋）

※出願書類「プレゼンテーション概要」作成時の参考として、文献リストの記入例を記載します。
書き方の形式は一つではないので、他の資料を参考に別の記入形式を採用しても問題ありません。

文献の提示の仕方は一つではない。ここでは、一般的な書き方を示した。文献の並べ方は、日本語文献のみの場合は著者名の五十音順にするという方法でよいが、外国語文献も含む場合はアルファベット順に並べる。なお日本語文献のみの場合でもアルファベット順に並べて問題はない。

〔日本語文献の場合〕

単行本 著者名『書名』出版社名、発行年。

雨野武『大学教育再考』千代田堂、2002年。

翻訳書 原著者名(翻訳者名)『書名』出版社名、発行年。

ケイジ・ニコル(高橋久幸訳)『カレッジの起源』目黒出版社、1998年。

※原著者名は、ファミリーネーム・ファーストネームと表記する。

雑誌論文・雑誌記事 著者名「論文名・記事名」『雑誌名』巻号、発行年月、掲載頁。

源尊氏「サークル活動を通じたコミュニケーション能力形成の研究」

『大学教育実践研究』第12巻第31号、2001年10月、93-112頁。

単行本に収められた論文 著者名「論文名」編者名『書名』出版社名、発行年、掲載頁。

竹内美和子「初年次教育における英語教育の位置づけ」、

戸塚靖男編『新しい学士課程教育を構想する』台東出版、2003年、20-40頁。

新聞記事 署名がある場合は著者名「記事タイトル」『新聞名』掲載年月日(朝夕刊の別)、掲載頁。

「国会で与野党の対立つづく」『毎朝新聞』2009年4月1日(夕刊)、1頁。

インターネット上の資料 著者名「文書名」、サイト名、URL(閲覧日:年月日)

神田外語大学「大規模地震対応マニュアル」、神田外語大学公式ウェブサイト、

<http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/target/student/pdf/manual.pdf> (閲覧日: 2016年11月4日)。

映像資料

テレビ放送の場合:「番組名」放送局名、放送日。

「神田外語大学を訪ねて」〇×テレビ、2016年10月23日放送。

DVDなどの場合:『タイトル』発売元、発売年。

『神田外語大学のすべて』〇×映画社、2016年。

〔外国語文献の場合〕

単行本の書名と雑誌名はイタリックにして、論文と区別する。

単行本(著者が一名) 著者名、書名、出版地:出版社名、発行年。

Anderson, Mary, *College Revolution*, Chicago: Rock College Press, 1981.

※著者名は、「ファミリーネーム、ファーストネーム」と表記する(以下同)。

単行本(著者が複数) 著者名 and 著者名、書名、出版地:出版社名、発行年。

Anderson, Mary and Takahashi, Hisayuki, *Universities in Japan*, Boston: US Books, 1999.

雑誌論文・雑誌記事 著者名、「論文名」、雑誌名、巻(号): ページ、発行年。

Anderson, Mary, "The New Patterns of How to Teach Academic Writing", *College Education Review*, 4(3): p.35-44, 2005

単行本に収められた論文 著者名、「論文名」、編者名 ed., 書名、出版地:出版社名、発行年。

Anderson, Mary, "The Changes in College Impact in the Past 15 Years", Jackson, Benedict ed., *College Education and New Students*, London: Redbrick Press, 2006.

※編者名も「ファミリーネーム、ファーストネーム」と表記する。編者が複数の場合はandでつなぎ、「ed.」を「eds.」に変える。

8. 入学検定料

入学検定料：35,000円

入学検定料振込受付期間：2022年8月22日(月)～9月14日(水)

振込依頼書(本学所定書式)を本学ホームページよりダウンロードのうえ印刷し、振込手続を行ってください。入学検定料は、振込依頼書に必要事項をボールペンで記入のうえ、金融機関窓口(ゆうちょ銀行は除く)から電信扱いにて振り込んでください。振り込み後、振込金受領書に金融機関の収納印が押印されていることを確認してください。

※ATM、インターネット銀行、郵便振替、現金書留等は受け付けません。

※いったん納められた入学検定料は、いかなる理由があっても返還いたしません。

※金融機関窓口で振込手続を行う際に振込先(サノガクエン)についてたずねられることがあります。

本学は「学校法人佐野学園 神田外語大学」ですので、正しい振込先です。そのまま振込手続を行ってください。

9. 出願方法

出願期間：2022年9月8日(木)～9月14日(水) (消印有効)

出願書類提出用封筒ラベル(総合型選抜<前期>用／本学所定書式)を本学ホームページよりダウンロードのうえ印刷し、差出人欄および出願書類チェック欄を記入後、出願書類一式を封入した市販の封筒(角形2号)に貼付して、簡易書留・速達郵便で本学アドミッション&コミュニケーション部宛に送付してください。

※上記とは別に、プレゼンテーション資料を提出してください(11・13・15ページに記載)。

10. 出願上の注意

- (1) 出願基準および条件(7ページに記載)を満たしていることを確認してください。
- (2) 出願書類は、出願期間内(締切日消印有効)に簡易書留・速達郵便で送付してください。
※出願締切日を過ぎた日付の消印が押された書類や書類不足の場合は受理できません。
※プレゼンテーション資料は別途設定された提出期間に指定の方法で提出してください。
※出願書類およびプレゼンテーション資料をそれぞれの出願期間内にすべて提出できない場合、合否判定を行えない可能性があります。
- (3) 本学の窓口では、出願書類を受理できません。
- (4) 出願書類に不備がある場合は、受理できないことがあります。
- (5) 出願書類は、原則返却いたしません。
※ただし、所定の手続き方法により申し出があった場合に限り英語資格証明書の原本を返却します。
詳しくは19ページを確認してください。
- (6) 出願書類に虚偽があった場合は、合格を取り消します。
- (7) 出願後の志望学部・学科・専攻の変更はできません。
- (8) 受験上および修学上特別の配慮を必要とする場合は、出願する前に本学アドミッション&コミュニケーション部へお問い合わせください。
[受験上および修学上の配慮について] <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/applicant/>

11. 受験票の発送

2022年9月27日(火)に出願者本人宛に本学から速達郵便で発送します。

※9月30日(金)までに受験票が届かない場合は、本学アドミッション&コミュニケーション部へお問い合わせください。

12. 受験上の注意

- (1) 総合型選抜(前期)の入学者選抜は、英語テストを対面形式、プレゼンテーション、質疑応答・面接をオンライン形式で実施します。
 - ・ 受験票に記載された日時に、神田外語大学内の各試験教室へ入室してください(時間厳守)。
 - ・ 選考日は、8時15分に開門し、受付を開始します。指定された集合時間までに試験教室へ入室してください。
 - ・ 各試験教室への案内は、選考当日に掲示発表します。
 - ・ 遅刻者は受験を許可しません。

※対面形式、オンライン形式ともに、試験会場は「神田外語大学」です。
※オンライン実施に関する詳細は、本学ホームページに掲載の「オンライン試験実施に関するガイドライン」を確認してください。
※英語リスニング開始後の入室はできません。公共交通機関の遅延等、正当な理由がある場合は、受付に申し出てください。
※受付開始以前に入構することはできません。
- (2) 受験当日に用意するもの
 - ・ 受験票：必ず手元に用意してください。
 - ・ 筆記用具：HBの黒鉛筆、シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム
 - ・ 時計
 - ・ プレゼンテーションに使用する資料
 - ※プレゼンテーションには、本学のPCを使用します。
 - ・ 昼食：同日の午前・午後に試験のある方は持参してください。※学生食堂使用不可

※試験実施中に携帯電話、スマートフォン等を鳴らした場合、不合格となることがありますので注意してください。
- (3) 受験票を紛失した場合は、係員に申し出てください。
- (4) 不正行為者には即時に中止を命じ、全試験を無効とします。
- (5) **試験の録画・録音、スクリーンショットの撮影や、第三者に試験内容を伝達することは禁止します。禁止行為が判明した場合には、不正行為者として対応します。**
- (6) プレゼンテーション(質疑応答・面接を含む)の順番により各自の待機時間は異なります。
※最終プレゼンテーション終了予定時間は18時00分頃。
- (7) 試験時間中および待機時間中は、試験官(面接官)、係員の指示に従ってください。
- (8) **受験者以外の方の本学への入構は認めません。**
- (9) 地震災害、感染症その他の事情により、本学試験が所定の期日に実施できない場合、本学ホームページ等を通じて、変更情報をお知らせします。 <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/>
- (10) 試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(インフルエンザや新型コロナウイルス感染症など)に罹患している方は受験できません。発熱・咳等の症状がある場合は、あらかじめ医療機関を受診してください。また、追試験・再試験等の措置、入学検定料の返還は行いませんので、体調管理にご留意ください。
- (11) 試験時間中を含め、マスクを常に着用してください。(写真照合、プレゼンテーション、質疑応答・面接時を除く)こまめに手指消毒を行い、他者との会話等は極力控えてください。
※障がいや疾病等でマスク着用ができない方は、出願前に本学アドミッション&コミュニケーション部にお問い合わせください。
※試験場ではマスクやフェイスシールド等を破棄せず、持ち帰ってください。

13. 可否結果通知の発送

- (1) 可否結果は、**2022年11月1日(火)**に本人宛に速達郵便で大学から発送します。
11月4日(金)までに届かない場合は、本学アドミッション&コミュニケーション部へお問い合わせください。
※ホームページ上や学内掲示での発表は行いません。
- (2) 合格者には、合格通知書に入学手続要項・入学手続書類等を同封して速達郵便で送付します。
- (3) 可否に関する問い合わせには一切応じられません。

14. 入学手続

入学手続期間：2022年11月2日(水)～11月8日(火)（消印有効）

入学手続は、初年度学費等の納入と、入学手続書類の提出によって完了します。合格通知書と共に送付する「入学手続要項」に従って行ってください。

合格者は、入学手続期間内に、初年度学費等納入金を本学所定の振込用紙を使用して、金融機関窓口（ゆうちょ銀行は除く）で振り込み、入学手続書類を送付してください。本学窓口での受付はしません。

- ・ 初年度学費等納入金の支払方法は、「全納」と「分納」の2つの方法があります（延納はできません）。
- ・ いったん納入された初年度学費等納入金および入学手続書類は、原則返還いたしません。
- ・ 入学手続期間の延長は原則として認めません。期間内に手続が完了しない場合は、入学資格が取り消されます。

※「高等学校卒業見込み」の出願資格で受験した方は、2023年3月31日までに高等学校を卒業することができない場合、入学許可が取り消されます。「高等学校卒業」と同等の資格を取得見込みの場合も同様です。

【初年度学費等納入金】

種 別	項 目	全 納	分 納	
		入学手続時	1回目 入学手続時	2回目 2023年8月末
学 費	入 学 金	200,000円	200,000円	—
	授 業 料	980,000円	490,000円	490,000円
諸会費等	施設設備費	240,000円	120,000円	120,000円
	学友会費*1	5,000円	5,000円	—
	いしずゑ会費*2	10,000円	10,000円	—
	学外宿泊キャンプ費	10,000円	10,000円	—
合 計		1,445,000円	835,000円	610,000円

施設設備費は、2年次以降毎年320,000円となります。2年次以降の年間納入額は、毎年1,325,000円です。

*1 学友会費は、学友会（学生自治会）の運営費用であり、公認学生団体の活動補助金等に当てられます。

*2 いしずゑ会費は、「神田外語大学いしずゑ会」（同窓会組織）正会員となるための終身会費です。

※志願者本人もしくは両親・兄弟姉妹のいずれかが、本学または姉妹校・神田外語学院を卒業あるいは在籍している場合、「神田外語いしずゑ会」の入学金返還制度を利用することができます。該当者は入学後のガイダンスで案内します。

【参考】「国の教育ローン」（日本政策金融公庫）

高校、大学等への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

融資限度額： 学生1人につき350万円まで *一定の要件に該当する場合は上限450万円まで

金利： 年1.80%（2022年5月2日現在）

*母子家庭、父子家庭、世帯年収200万円（所得132万円）以内の方または子ども3人以上の世帯かつ世帯年収500万円（所得356万円）以内の方は上記利率の▲0.4%（固定金利・保証料別）

返済期間： 18年以内

返済方法： 元金と利息を合わせた毎月の返済額が一定（元利均等返済）、在学期間内は利息のみの返済とすることが可能

融資には審査が必要です。ご利用の際は時間に余裕をもって出願前にお申込みください。

【お問い合わせ】0570-008656（ナビダイヤル） <https://www.jfc.go.jp>

*同サイトでは必要時期の2～3ヵ月前のお申込みが推奨されています。

15. 入学前教育

本学では総合型選抜〈前期〉の合格者に対して入学前教育を課しています。計画を立てて課題に取り組んでください。

入学前教育を指定の期日までに完了しない場合、入学が取り消される可能性があります。

入学前教育の内容は、入学手続き完了後に通知します。

16. 英語資格証明書の原本返却について

所定の手続きにより申し出があった場合に限り、英語資格証明書の原本を返却します。

本学ホームページの「入試情報」に掲載している「英語資格証明書原本返却申請書」をダウンロードし、申請書に記載されている手続き方法に従って申請してください。なお、返却には出願期間締切日から2週間程度かかります。出願後の申請は受け付けませんので注意してください。

17. 入学試験Q&A

項 目	よくある質問	回 答	頁
出 願	出願書類が出願期間内にすべて揃いません。足りない書類はあとから送ってもよいですか。	必ずすべての書類を揃えてから出願してください。出願期間を過ぎて届いた書類や書類不足の場合は受理できません。	17
	出願書類を持参したら受取ってもらえますか。	本学の窓口では受理できません。出願書類は必ず出願期間内に簡易書留・速達郵便で送付してください。	17
	出願書類を送ったあとに、志望学部・学科・専攻を変えることはできますか。	出願後の志望学部・学科・専攻の変更はできません。また、プレゼンテーションテーマの変更も認められません。	17
	検定試験に合格しています。合格証書のコピーを同封してもよいですか。	任意提出書類としてコピーを同封してください。なお、出願期間を過ぎて届いた場合、また試験当日に持参した場合は受理できません。	9, 17
	志望理由書を規定の文字数以上書いてもよいですか。	規定の文字数におさめてください。 ・英米語学科 1,200字以内 ・アジア言語学科、イベロアメリカ言語学科 800字以内	8
	インターネット銀行から入学検定料の振込みはできますか。	インターネット銀行からの振込みはできません。金融機関の窓口(ゆうちょ銀行は除く)から振り込んでください。	17
	英米語学科とイベロアメリカ言語学科の両方を受験できますか。	総合型選抜(前期)内での学内併願はできません。	7
	総合型選抜(前期)に出願しました。他の入試との併願は可能ですか。	本学の他の入試区分や他大学の入試に出願することは可能です。ただし総合型選抜(前期)では、合格した場合は必ず当該学科・専攻に入学することが出願条件になっています。	7
受験票	受験票が届きません。	9月27日(火)に速達郵便で発送します。9月30日(金)になっても届かない場合は、本学アドミッション&コミュニケーション部へお問い合わせください。	17
	受験票を紛失してしまいました。	事前に連絡をいただいた場合には再発行して郵送します。選考当日に紛失が判明した場合は、本学係員に申し出てください。	18
試 験	英語リスニングはどのような方法で行われますか。	一斉放送で音声を読み流します。音声は一度しか流れません。	—
	英米語学科を受験します。どちらのプレゼンテーションテーマになるのか、いつ教えてもらえますか。	選考当日、プレゼンテーション試験の試験官(面接官)から指示を受けます。どちらのテーマになっても十分に力を発揮できるよう、準備してください。	10, 11
	英米語学科を受験します。両方のテーマの資料を提出するのですか。	2つのテーマ両方の資料を所定の期間内に提出してください。	11
	出願時に提出した参考文献リストに追記したいのですが、どのようにしたらよいですか。	資料の追加提出はできませんが、試験当日のプレゼンテーションの中で補足することは可能です。	—
	参考文献を多く挙げた方が高い評価になりますか。	一概には言えません。量が多くても質が伴わず、プレゼンテーションにいかされていないと判断される場合は、高い評価が得られません。	—
	動画や録音された音声資料の使用が禁止なのはなぜですか。	受験者の皆さんのその場での表現を見せたいからです。	10, 12, 15
	プレゼンテーション資料に写真を使用してもよいですか。	使用可能です。他者の作品や製作物の場合は、出典を明示してご利用ください。	11, 13, 15
	プレゼンテーションソフトを使用した方が有利になりますか。	資料形態による有利不利はありません。自分が最も表現しやすいと思う形態を採用してください。※英米語学科はプレゼンテーションソフトの使用が指定されています。	—
	資料の準備ができるまでの時間もプレゼンテーションの時間に含まれますか。	プレゼンテーション開始前の資料セッティングは、プレゼンテーションの時間に含めません。※ただし、セッティングに時間を要し、開始に支障のある場合は、試験官(面接官)の指示に従ってください。	10, 12, 14
	プレゼンテーションは資料を見ながら実施してもよいですか。	問題ありません。資料や台本、メモを見ながらプレゼンテーションを行えます。	—

項 目	よくある質問	回 答	頁
試 験	プレゼンテーション試験の順番や終了時間を教えてください。	プレゼンテーション試験の順番や実施時間を事前にお伝えすることはできません。また、受験者が日時を指定することもできません。集合日時は受験票で通知しますが、実施の順番によって、待機時間が長くなる場合があります。各選考日の最終終了予定時間は18時00分頃です。	18
	入試の成績は教えてください。	入試成績の開示はしていません。	—
その他	何人出願しているか教えてください。	出願状況についてお答えすることはできません。	—
	昨年の倍率を教えてください。	入試ガイドや本学ホームページに過去の入試結果を掲載していますので、ご覧ください。	—
	学費の振込先が「サノガクエン」となっていますが、間違いではありませんか。	正しい振込先です。 神田外語大学の正式名称は「学校法人佐野学園 神田外語大学」です。	17

Languages are the foundation to link the world in peace.



KANDA UNIVERSITY OF INTERNATIONAL STUDIES

アドミッション&コミュニケーション部

〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1

TEL. 043(273)2476 月～金 9:30 ～ 17:00

*土日祝および夏期休業期間(8/4～8/21)は受け付けておりません。

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/>